

2019年3月期 第2四半期決算説明会

2018年11月20日 綜研化学株式会社

説明内容



- 1. 全体総括
- 2. 2019年3月期 上期(第2四半期)連結決算
- 3. 2019年3月期 通期業績見通し



説明内容



- 1. 全体総括
- 2. 2019年3月期 上期(第2四半期)連結決算
- 3. 2019年3月期 通期業績見通し



2019年3月期 第2四半期業績総括



前期 : 売上高 136億円 営業利益 12.2億円

利益率 9.0%

計画 : 売上高 150億円 営業利益 11.0億円

利益率 7.3%

実績 : 売上高 156億円 営業利益 11.1億円

利益率 7.1%

- ◆ 中国中心に液晶ディスプレイ関連分野での粘着剤の販売伸長 国内工場のフル稼働継続
- ◆ 中国スマートフォン・家電向けでの加工製品の価格競争激化
- ◆ 堅調な国内設備投資を背景に装置システムの受注好調維持
- ◆ 前期下期からの原料価格上昇が大幅な減益要因

2019年3月期 通期業績見通し総括



前期 : 売上高 300億円 営業利益 26.5億円

利益率 8.8%

計画 : 売上高 320億円 営業利益 26.0億円

利益率 8.1%

見込 : 売上高 320億円 営業利益 26.0億円

利益率 8.1%

- ◆ 中国を中心に液晶ディスプレイ関連分野の需要拡大
- ◆ 特殊機能材・加工製品の中国での価格競争激化、新規案件遅延
- ◆ 装置システムの受注が堅調に推移
- ◆ 原料価格上昇による減益は計画想定内、 為替は計画に対し人民元安によるマイナス影響を見込む

2019年3月期 下期取り組み





中期経営計画「New Value 2019」

- ★中国・東南アジア地域での事業拡大と収益性向上
- ★新たな製品・サービスの創出、成長投資の積極拡大
 - 340億円 ROA 8%以上

30億円 ROE 9%以上

8.8%

〇 2018/3~2020/3期 投資計画

55億円 30億円

- 今後の取組み -
- ◆ 液晶ディスプレイ関連分野の粘着剤シェア拡大に向けた中国工場の生産能力増強 将来の新規案件獲得を見据えた国内工場の生産能力増強・合理化
- ◆ 環境配慮型製品などによる新規用途・顧客開拓の推進体制強化
- 自動車・ヘルスケア・電子材料など成長期待分野をターゲットとする成長戦略推進

説明内容



- 1. 全体総括
- 2. 2019年3月期 上期(第2四半期)連結決算
- 3. 2019年3月期 通期業績見通し



2019年3月期 上期業績



(百万円)

	2019年3月期 上期	2018年3月期 上期	増減	2019年3月期 上期(計画)
売上高	15,605	13,604	2,000	15,000
営業利益	1,111	1,219	▲108	1,100
経常利益	1,067	1,217	▲150	1,100
当期純利益	811	936	▲124	900

^{*} 当期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を記載しております。

2019年3月期 上期セグメント別売上高



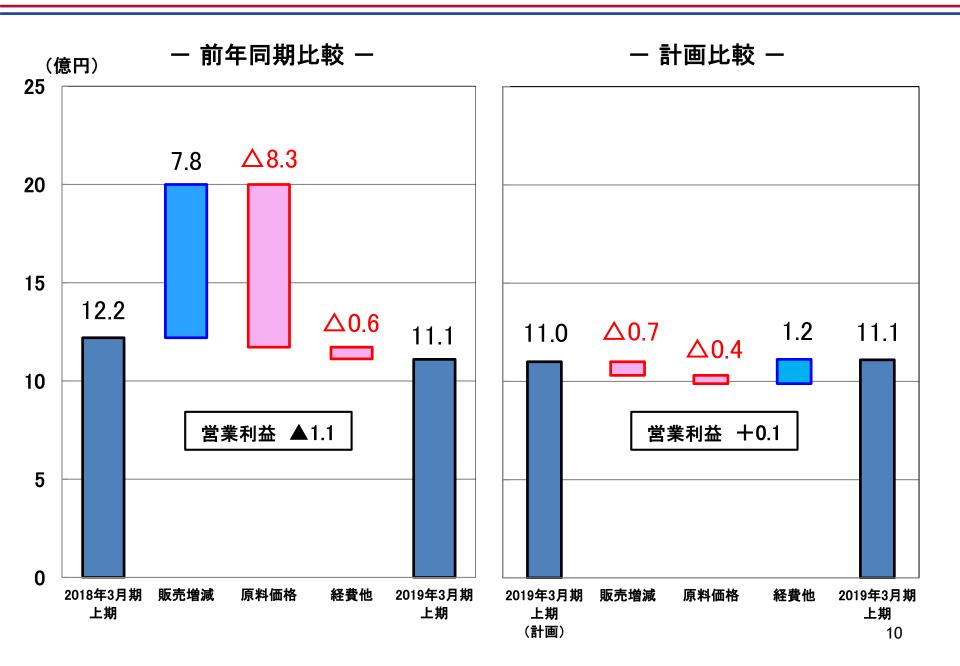
(百万円)

	2019年3月期 上期	2018年3月期 上期	増減	2019年3月期 上期(計画)
ケミカルズ	13,710	12,124	1,585	13,600
粘着剤	8,279	6,812	1,466	7,900
微粉体	1,453	1,253	200	1,500
特殊機能材	1,681	1,681	▲0	1,500
加工製品	2,295	2,376	▲80	2,700
装置システム	1,894	1,480	414	1,400
合計	15,605	13,604	2,000	15,000

[※]新規事業(ナノインプリント製品)の売上高は、2019年3月期から加工製品に含めております。

2019年3月期 上期営業利益分析





貸借対照表の状況

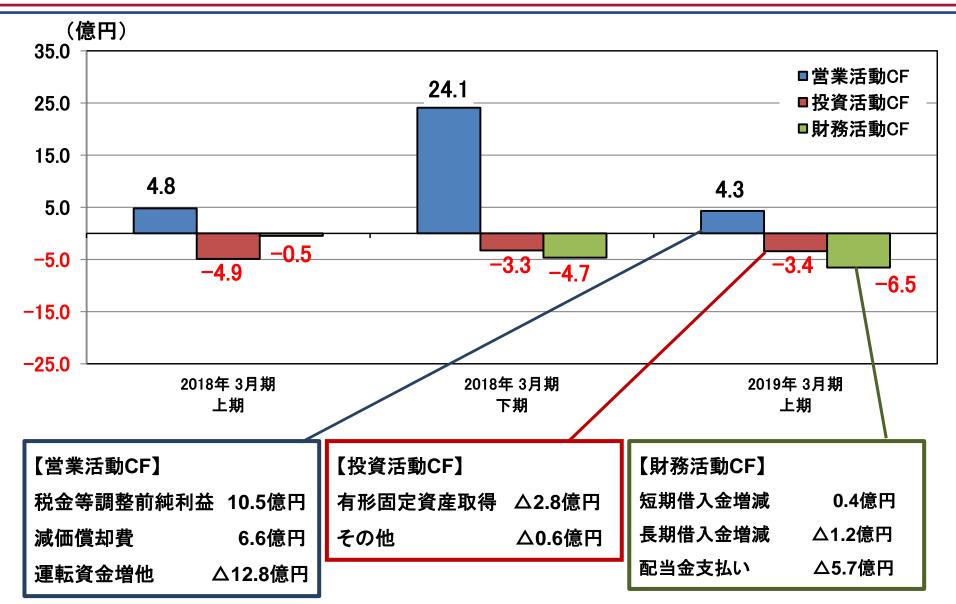


(百万円)

	2018年 9月末	2018年 3月末	増減		2018年 9月末	2018年 3月末	増減
流動資産	20,935	21,392	▲ 457	負債	13,693	14,601	▲908
現預金等	5,966	6,593	▲ 627	支払手形・買掛金	6,287	6,573	▲286
受取手形•売掛金	10,573	10,290	282	借入金	3,158	3,270	▲112
棚卸資産	4,146	4,212	▲ 65	退職給付に係る負債	1,867	1,866	0
その他	249	296	▲ 47	その他	2,380	2,890	▲ 510
固定資産	15,059	15,603	▲ 543	純資産	22,301	22,394	▲92
有形固定資産	12,185	12,719	▲ 533	株主資本	20,901	20,670	231
無形固定資産	117	83	34	その他の包括利益累計額	1,400	1,724	▲324
その他	2,756	2,801	▲ 44				
資産合計	35,994	36,996	▲1,001	負債·純資産 合計	35,994	36,996	▲1,001

キャッシュ・フローの状況





説明内容



- 1. 全体総括
- 2. 2019年3月期 上期(第2四半期)連結決算
- 3. 2019年3月期 通期業績見通し



2019年3月期 通期業績見通し



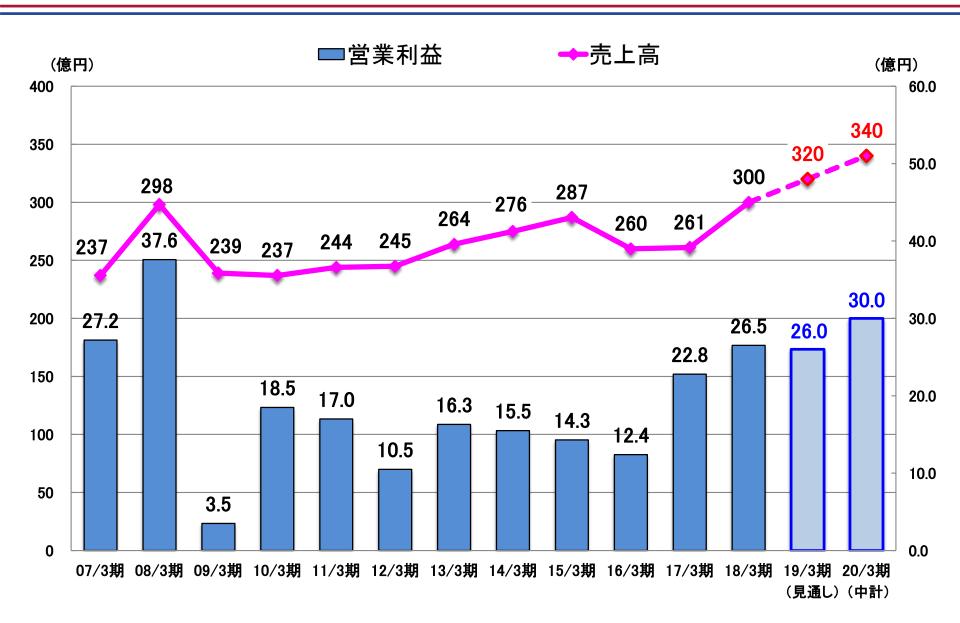
(百万円)

	2019年3月期 (見 通 し)	2018年3月期 (実績)	増減 (対前年)	2019年3月期 (計画)
売上高	32,000	30,050	1,950	32,000
営業利益	2,600	2,651	▲ 51	2,600
経常利益	2,500	2,600	▲100	2,500
当期純利益	1,900	1,964	▲ 64	1,900

^{*} 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しております。

売上高・営業利益の推移





2019年3月期 通期セグメント別売上高



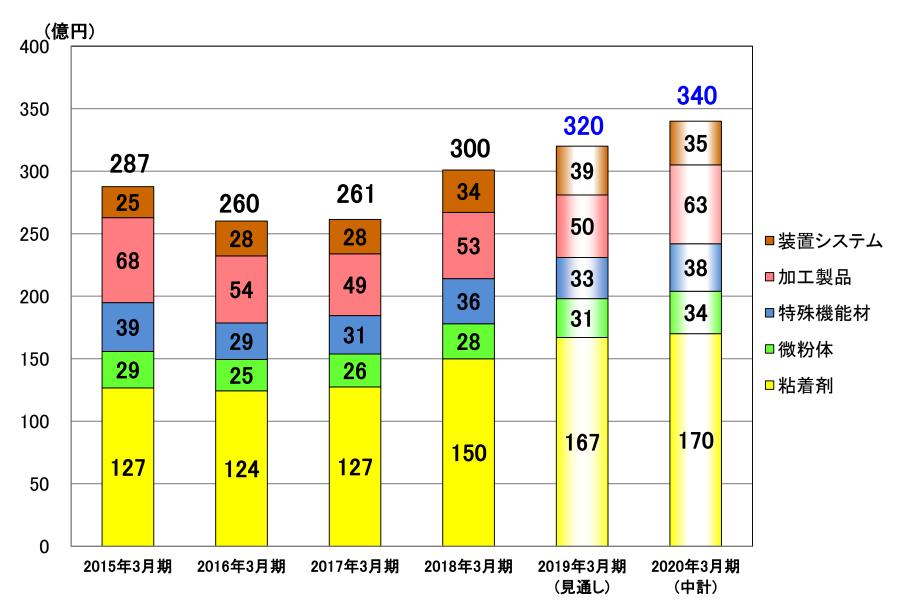
(百万円)

	2019年3月期 (見通し)	2018年3月期 (実績)	増減 (対前年)	2019年3月期 (計画)
ケミカルズ	28,100	26,646	1,454	28,600
粘着剤	16,700	14,968	1,732	16,100
微粉体	3,100	2,785	315	3,100
特殊機能材	3,300	3,574	▲274	3,600
加工製品	5,000	5,316	▲316	5,800
装置システム	3,900	3,404	496	3,400
合計	32,000	30,050	1,950	32,000

[※]新規事業(ナノインプリント製品)の売上高は、2019年3月期から加工製品に含めております。

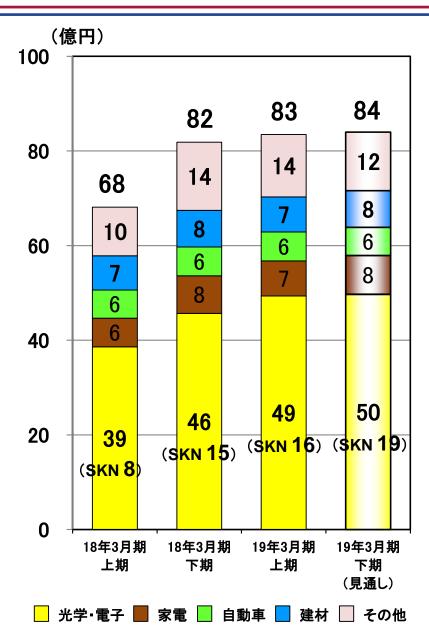
商品ユニット別売上高推移





粘着剤





	18年3月期 (前期)	19年3月期 (見 通 し)	増減	19年3月期 (計画)
光学·電子	85	99	14	93
建材•自動車他	65	68	3	68
合計	150	167	17	161

2019年3月期上期の概況

- 中国での大型TV用途を中心にLCD関連分野の需要拡大
- 建材・自動車分野等の一般用途は堅調に推移
- 原料価格上昇により収益性悪化、価格改定効果は下期以降

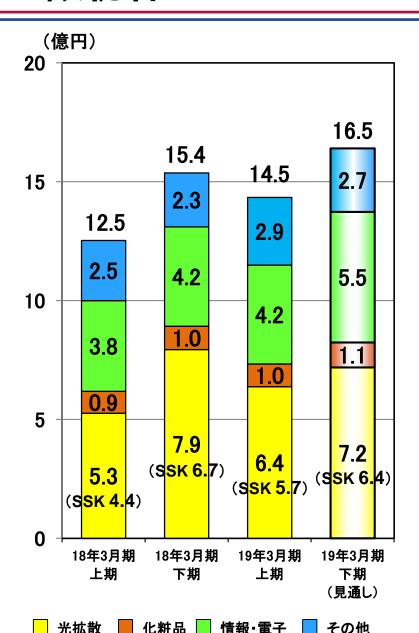
2019年3月期下期の取組み

- 〇 中国LCD関連分野での競争優位性の維持・向上
 - 中国南京工場の稼動率向上による利益改善
 - 需要拡大に対応した中国南京工場の設備増強推進
- 〇 環境配慮型製品によるシェア拡大
 - 建材・自動車分野での新規案件の本格採用推進
- 新たな地域・用途の探索
 - ・インド市場での現地企業との提携等による顧客開拓推進
 - 国内工場の設備増強による生産供給能力確保

※SKN:中国子会社 綜研高新材料(南京)

微粉体





	18年3月期 (前期)	19年3月期 (見 通 し)	増減	19年3月期 (計画)
光拡散	13.2	13.6	0.4	13.5
情報·電子他	14.7	17.4	2.7	17.5
合計	27.9	31.0	3.1	31.0

2019年3月期上期の概況

- ・中国光拡散フィルム用途のシェア拡大による販売数量増
- 電子部品関連用途の販売が在庫調整等により想定下回る

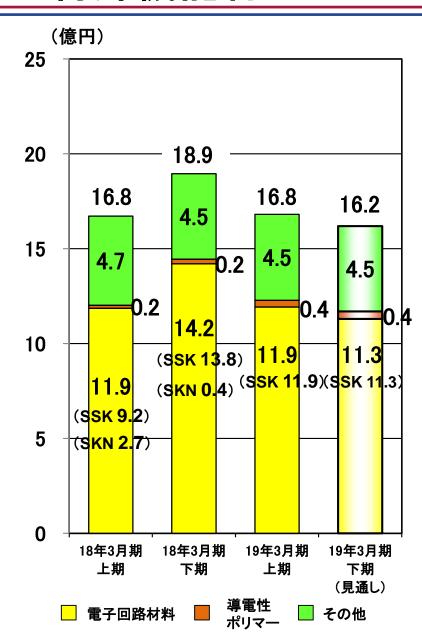
2019年3月期下期の取組み

- 〇中国市場での販売拡大・収益性向上
 - ・ 光拡散用途での顧客対応強化による高シェアの維持・向上
- 〇新規用途・顧客開拓による販売拡大
 - 将来有望案件獲得に向けた製品開発体制強化
 - ・既存製品での新規採用案件の早期立ち上げ
- 〇生産供給能力、生産性向上
 - 最適なグループ生産供給体制構築、品種・荷姿統合などによる生産性向上

※SSK:中国子会社 綜研化学(蘇州)

特殊機能材





	18年3月期 (前期)	19年3月期 (見通し)	増減	19年3月期 (計画)
電子回路材料	26.1	23.2	▲2.9	26.0
その他	9.6	9.8	0.2	10.0
合計	35.7	33.0	▲2.7	36.0

2019年3月期上期の概況

- 中国電子回路材料用途は計画上回るも、下期需要は弱含み
- 自動車、塗料用途等での需要が堅調に推移

2019年3月期下期の取組み

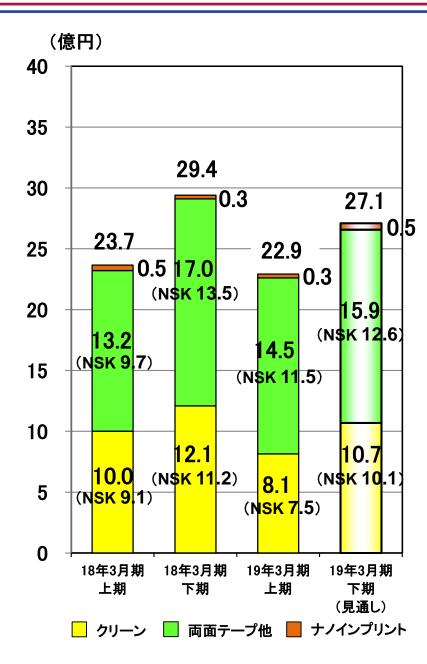
- 〇中国市場での既存製品による新規用途探索
 - ・電子回路材料用途以外での新たな事業分野への製品展開
- 〇環境配慮型製品等による新規案件獲得
 - ・建材分野等での新規案件の早期立ち上げ
 - ・ 樹脂改質剤としての用途拡大に向けた評価・分析技術向上
 - ・導電性ポリマーの中国市場展開加速

※SSK:中国子会社 綜研化学(蘇州)

※SKN:中国子会社 綜研高新材料(南京)

加工製品





	18年3月期 (前期)	19年3月期 (見 通 し)	増減	19年3月期 (計画)
クリーン	22.1	18.8	▲3.3	23.0
両面テープ他	31.0	31.2	0.2	35.0
合計	53.1	50.0	▲3.1	58.0

2019年3月期上期の概況

- ・スマートフォン・家電用途での価格競争激化による販売減
- 梱包資材・電子機器用途等での新規案件立ち上げ遅延

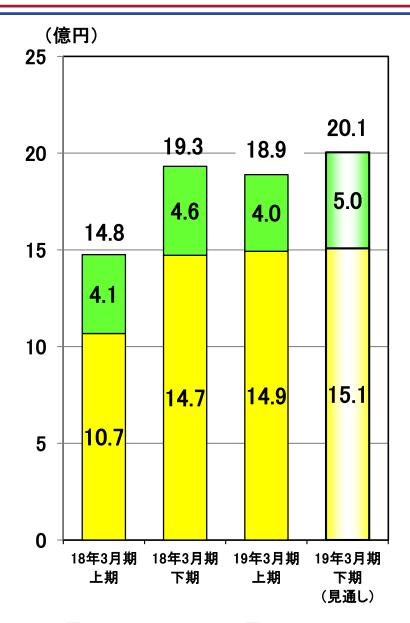
2019年3月期下期の取組み

- 〇中国自動車市場への本格参入推進
 - ・環境配慮型製品ラインナップ拡充による顧客評価・採用促進
 - ・ 部品メーカー・代理店等との協業関係強化、営業増員
- 〇中国市場での新製品による販売拡大
 - ・梱包資材、医療、電子機器分野の新規量産案件早期立上げ
- 〇ナノインプリント事業との統合によるシナジー効果追求
 - ・ナノインプリント事業と加工製品事業の特徴を活かした 最適な販売・開発・生産体制の構築

※NSK:中国子会社 寧波綜研化学

装置システム





	18年3月期 (前期)	19年3月期 (見通し)	増減	19年3月期 (計画)
設備・メンテナンス	25.4	30.0	4.6	24.0
ボイラー・熱媒体油	8.7	9.0	0.3	10.0
슴計	34.1	39.0	4.9	34.0

2019年3月期上期の概況

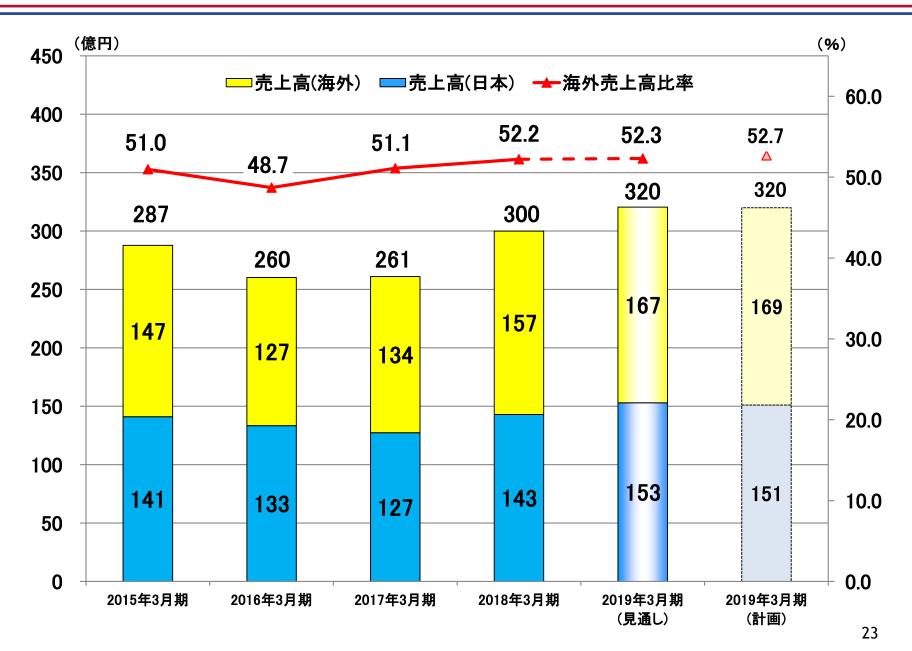
- ・堅調な国内設備投資を背景に設備関連の受注が好調維持
- ・工事進捗・コスト管理徹底による収益性の向上

2019年3月期下期の取組み

- 〇設備関連の収益性維持・向上
 - ・受注増に対応する工事遂行体制の整備・強化
- ○環境変化に強い安定した収益基盤の構築
 - ・設備診断サービスの拡充、積極営業展開・体制強化
 - 熱媒体油の顧客情報管理徹底による入替、再生促進

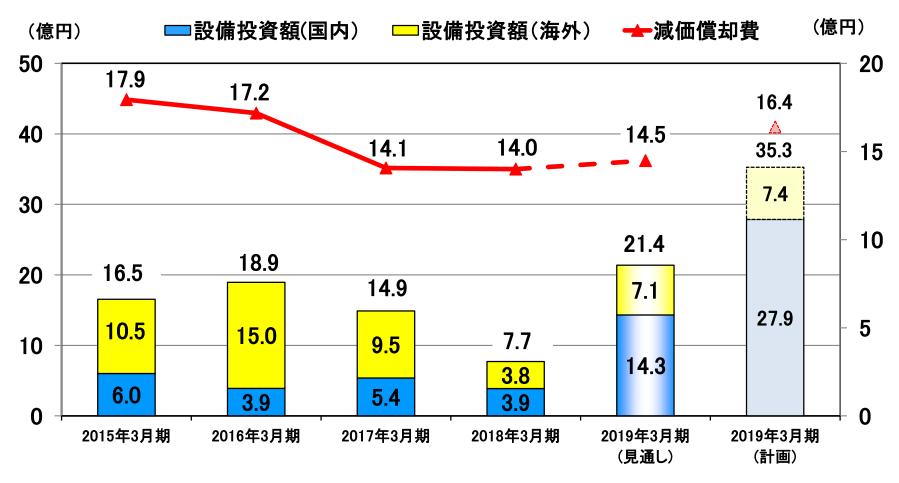
海外売上高比率推移





設備投資•減価償却費





2019年3月期通期見通し

- · 国内設備合理化 · 更新
- ・新規事業及び新製品開発
- ·中国安全·環境·品質対応
- 8. 2億円
- 1. 4億円
- 2. 2億円
- ・国内安全・環境・品質対応
- ・中国生産設備合理化・更新
- 2. 4億円

2.9億円



参考資料 会社概要、事業内容 中期経営計画概要



会社概要



■会社名 綜研化学株式会社

■創立 1948年9月2日

■ 資本金 3,361百万円

■株式公開 2001年4月

(JASDAQコード: 4972)

■従業員数単体:376名

(2018年9月末) 連結: 1,043名

■グループ会社 国内:1社

海外:5社

会社概要(経営理念)



経営理念

- 一、私たちは常に誠実であるとともに 創造と工夫に情熱と責任を持って 挑戦しつづけます
- 一、地球環境の保全を指向しつつ 社会に役立つ革新的製品を 提供します
- 一、お客様には心からの満足を 株主の方々には共感を そして私たちは働く喜びを 実現していくことに 最善を尽くします

会社概要(当社の強み)



コア技術

高分子合成技術

- 分子設計
- 粒子サイズコントロール
- 無溶剤重合



重合装置技術

- ・プラント設計
- 大型翼撹拌装置
- 熱媒体・熱媒ボイラー

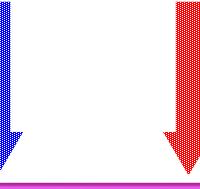




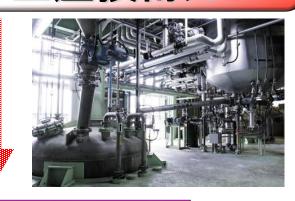
機能発現・品質評価を追求する

研究開発力





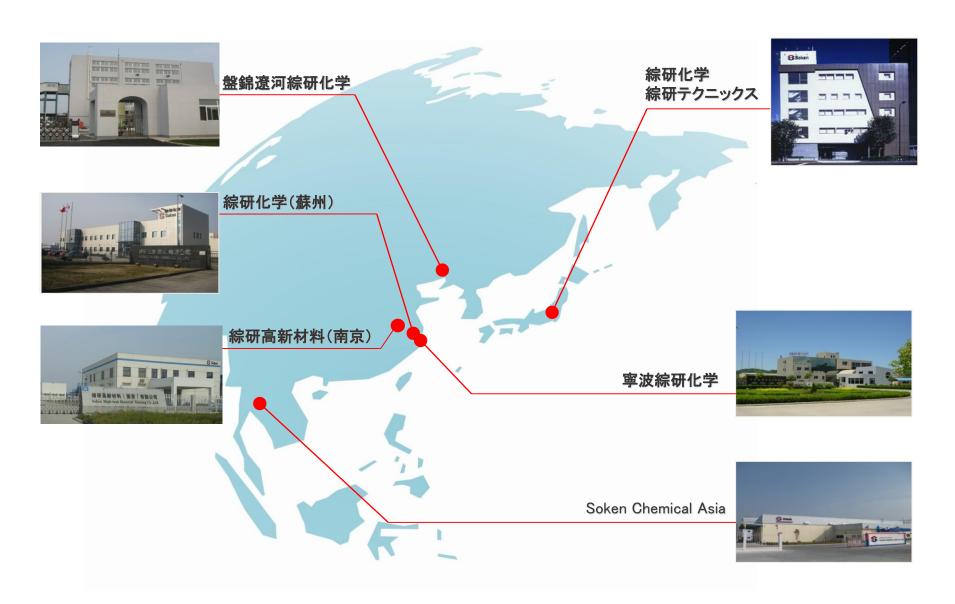
装置・システム技術を生かした 生產技術力



機能・品質・低コストの徹底追求

会社概要(グループ会社所在地)





会社概要(グループ会社)



商品ユニット会社名	出資比率	設立年	粘着剤	微粉体	特殊 機能材	加工製品	装置 システム
綜研化学	_	1948年	•	•	•	•	
綜研テクニックス	100	1997年					•
綜研化学(蘇州)	100	2002年	0	•	•		
寧波綜研化学	100	1994年	0			•	
綜研高新材料(南京)	100	2011年	•				
綜研化学アジア	100	2008年	•			•	
盤錦遼河綜研	45	1995年					•

🔲 連結子会社 📙 持分法適用会社

事業内容



ケミカルズ

■ 粘着剤

透明な合成樹脂溶液



用途:

LCD他光学フィルム用 両面テープ用 (家電・自動車等) ラベル用 マーキングフィルム用

■微粉体

ナノからミクロンサイズの 合成樹脂粒子

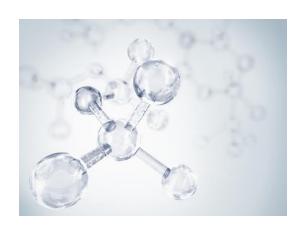


用途:

LCD光拡散用 化粧品用 トナー関連材料 フィルム用

■ 特殊機能材

様々な用途に応じた合成樹脂



用途:

電子回路材料 インキ・塗料材料 トナー関連材料 導電性材料

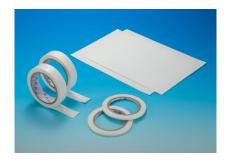
事業内容



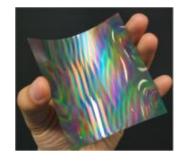
ケミカルズ

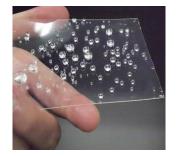
■加工製品

粘着テープ 粘着剤を塗工した製品



ナノインプリント製品 * ナノオーダーサイズで表面を微細加工した製品





装置システム



用途:

家電・事務機等 (両面テープ)

携帯電話等 (保護テープ)

LED照明等 (熱伝導テープ)

用途:

FPD、LED関連材料 等 (フィルムモールド)

レンズ等への撥水機能付与 (超撥水フィルム『Leafy』)

* 2019年3月期より、ナノインプリント製品は加工製品事業で取り扱っております。

大型翼攪拌装置(Hi-F) 熱媒ボイラー

熱媒体

メンテナンス

中期経営計画の概要



◆中期経営計画「New Value 2019」基本方針

中国・東南アジア地域での事業拡大と収益性向上新たな製品・サービスの創出、成長投資の積極拡大

◆ 重点施策

- ① 既存事業の事業領域拡大と収益性向上
- ② 将来に向けた新たな製品・サービスの創出
- ③ 安全性・生産性・環境対応力強化による競争優位性確保
- ④ 持続的成長を支える経営基盤強化
- ⑤ 環境変化に適応する多様な人材の確保・育成

◆数値目標

≪売上高・営業利益≫

	2020/3期
連結売上高	340億円
連結営業利益	30億円
売上高営業利益率	8.8%
ROA	8%以上
ROE	9%以上

2018/3~2020/3期 投資計画	
設備投資	55億円
成長投資枠	30億円



ご注意

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る決算発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。